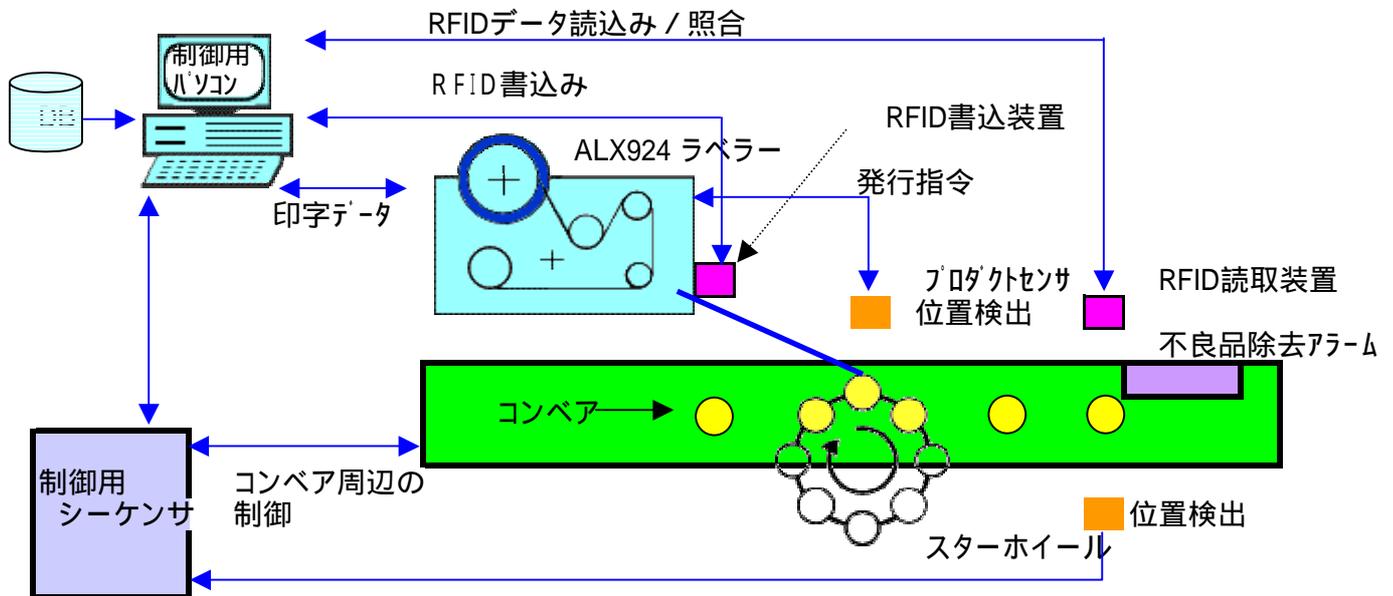


< 事例2 > 品質管理、物流管理、RFID ラベリングシステム

< システム構成概要 >

RFIDを封入したラベルを貼り付ける事により、出荷から流通の過程でその経過を情報として記録しておきたい製品の品質管理や物流管理に応用したシステム事例です。



- ・制御用シーケンサは コンベア、 スターホイール、 プロダクトセンサ、 不良品除去アームの制御とタイミング管理を行います。
- ・制御用パソコンは ALX-924ラベラー、 RFID書き込み装置へのデータの送信とステータスの入力、 RFID読取り装置からのRFIDのデータの取得を行います。
- ・制御用パソコンとシーケンサは、通信経路(LANまたはRS-232C)を介して連係動作を行います。

< 動作の流れの説明 >

- 1)制御用パソコンは、ALX-924ラベラー上の発行位置にあるラベルに対する印字データを送ると共に、そのラベルのRFIDにデータを書込み、発行準備を行います。
- 2)コンベアを流れてきた製品ボトルがスターホイールに捉えられ、プロダクトセンサがそれを検出するとALX-924に対してラベル発行指令を通知し、ラベル発行と貼り付けが行われます。
- 3)ラベル貼り付けが完了した製品ボトルがRFID読取り装置の位置に来ると、RFIDの情報を読取り、発行時のデータと照合を行い良否判定を行います。
本事例ではラベルに印字されたバーコードや内容を検査するバーコードリーダや画像検査装置は設置されていませんが、適宜必要に応じてカスタマイズが可能です。

- ・ALX-924ラベラーは(株)ノモサイエンスの「プリントシステム・ライブラリ」を使用しています。
- ・印字データを扱うソフトウェアおよび制御ソフトウェアはお客様の環境に応じてカスタムソフトを作成する必要があります。(株)ノモサイエンスにおいてはこのようなカスタムソフトの開発を行っています。
- ・ALX-924を除く、コンベア、スターホイール、位置検出センサなどの機構部はお客様の環境に応じて設計する必要があります。
トッパンレーベル(株)においてはALX-924の供給に併せて機構部の設計、製作を行っています。